

石川県 AI・半導体分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

フィジカルAIを核としたAI関連産業

2. 対象エリア

県内全域

[特定理由]

工作機械などの生産用機械器具メーカーや研究機関が集積し、フィジカルAIの実装による高付加価値化・産業拡大が見込まれる



3. 目指す姿（目標）

(1) 現状の整理

- ・ 人口減少に伴う人手不足を背景に、自動化への需要が高まっている
- ・ 本県は、生産用機械器具など製造業に強みを持ち、フィジカルAIを実装する産業基盤を有する

(2) 目指すべき目標（KGI）

- ・ 民間設備投資額 約2,700億円(精査中)
- ・ 付加価値増加額 約9,100億円(精査中)
- ・ 産業人材育成数 約1.4万人(精査中)

※上記数値は県が策定するクラスター計画4分野の合計値

4. 勝ち筋

(1) 基本戦略

全国に先駆けて、供給・需要の両面からフィジカルAIの現場実装を促すとともにAIロボティクス関連産業への参入を進め、AI関連産業の集積及び本県製造業の拡大・競争力強化を図る

(2) 目指すべき姿

- ・ 製品高度化により、装置メーカーの取引単価・利益率を向上
- ・ 現場への定着により、人手不足下でも付加価値額を高める生産体制を実現

5. 政策手段

(1) 取組に向けた課題

- ・ 現場データの整備・活用の推進
- ・ 実践的な人材育成・教育環境の確保
- ・ 実証に留まらない現場実装の定着など

(2) 講じるべき政策パッケージ

- ・ データ活用支援
- ・ 人材育成・産学連携支援
- ・ スタートアップ連携支援
- ・ 現場実装支援
- ・ 新分野進出支援など

石川県 AI・半導体分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

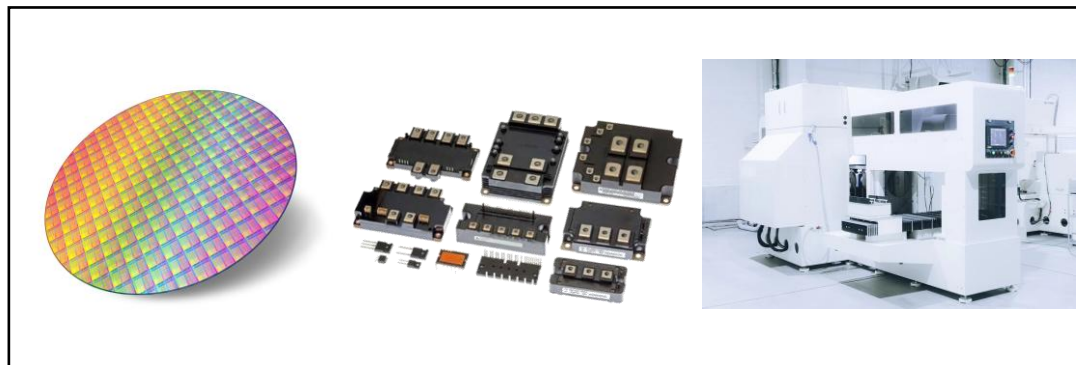
パワー半導体を中核とした半導体関連分野

2. 対象エリア

県内全域

[特定理由]

加賀、能登地区は半導体生産拠点が存在、金沢地区は半導体装置製造業や部材製造業、その他精密加工業が集積



3. 目指す姿（目標）

(1) 現状の整理

- ・ 半導体は、省エネ化・電動化等を背景に需要が高まっている。
- ・ 本県はパワー半導体等の半導体製造企業、装置製造企業、部素材製造企業が集積している。

(2) 目指すべき目標（KGI）

- ・ 民間設備投資額 約2,700億円(精査中)
 - ・ 付加価値増加額 約9,100億円(精査中)
 - ・ 産業人材育成数 約1.4万人(精査中)
- ※上記数値は県が策定するクラスター計画4分野の合計値

4. 勝ち筋

(1) 基本戦略

- ・ 装置・部素材を含む半導体関連サプライチェーンの強化・最適化
- ・ 半導体研究開発の強化や次世代人材の育成

(2) 目指すべき姿

- ・ パワー半導体産業の集積を強みに、半導体に関連する全ての部素材・製造装置・製造工程を含むサプライチェーンの強化を図り、省エネルギー化・電動化・AI化を支える半導体クラスターの形成

5. 政策手段

(1) 取組に向けた課題

- ・ 装置・部素材開発の不足
- ・ 変更認証等に起因する、高い新規参入の障壁
- ・ 産学官の研究開発体制の不足
- ・ 半導体関連人材の不足
- ・ 工場用地、道路インフラ等の不足

(2) 講じるべき政策パッケージ

- ・ 装置・部素材開発支援、生産体制強化・設備投資への支援
- ・ 周辺装置・部素材への参入支援
- ・ 産学官連携拠点への支援
- ・ 大型共同研究やマッチング支援
- ・ コンソ等による人材育成支援
- ・ 物流インフラ整備、県土の強靱化